



## 【先週のメッセージより】 「聖霊充滿を求めて」

天に戻られる前に主イエスが弟子たちに約束されたことは、彼らに助け主なる聖霊が与えられる、ということであった。この聖霊に満たされることによって私たちは初めてキリストの証人となることができ、さらに御霊の実を結ぶ人生を送ることができるのである。聖霊の働きこそ、教会の命であり、秘密であるが、教会はしばしば聖霊を無視し、聖霊を悲しませ、聖霊の炎を消して来てしまい、力を失ってしまった。

● **クリスチャンは歩く神社** パウロはコリントのクリスチャンたちに対して彼らが「神の神殿／聖霊の宮」であることを意識するように勧めた。私たちも同様、このお方が私たちのうちに住んでおられることを意識し、日々この方と「共に歩む」ことを選び続ける必要がある。

● **自覚、聖化、証しの力** 聖霊の働きは第一に私たちに神の子としての自覚を与えることである。私たちは御霊によって「アバ父」と素直に言えるようになるのである。第二に「聖化」つまりクリスチャン一人一人をイエス・キリストに似た者にすることである。聖霊は罪との戦いに勝利させてくださり、私たちの人格、品性を整えて、御霊の実を結ばせてくださるのである。第三に私たちにキリストの証人となるための力を着せてくださるのである。教会に仕え、社会に仕えるために必要な賜物を与え、宣教のために必要なエネルギーで満たしてくださるのである。

● **求めなさい！ そうすれば与えられます！** 聖霊はキリストを信じたものに全て与えられているのだが、聖霊に満たされることに関しては、私たちが積極的に求めて行くことを神は願っておられる。求める者には必ず与えられるというのが神の約束だが、御霊の満たしを妨げるものはいくらでもある。サタンにとって御霊に満たされたクリスチャンこそがもっとも厄介な存在であるがゆえに常に御霊の満たしを妨害してくることを覚える必要がある。

★このペンテコステ、聖霊充滿とされることを再度、共に求めて行こう。そして教会が力強くイエスを証ししていくことを求めて行こう！ ■

## 【聖霊について（2）】 「聖霊は、教え、導かれる家庭教師」

ヨハネ 14:26 「聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてください。」

ヨハネ 16:13 「真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。」

● 前回、聖霊が私たちの心の内側に住まわれる方をであることを学びました。ではその聖霊は私たちのために何をしてくださるのでしょうか。イエスが先ず教えられたのは聖霊が、①全てのこと、②イエスが話された全てのこと、③全ての真理に、それぞれ、①教え、②思い起こさせ、③導き入れる、ということでした。これは正に「家庭教師」の務めです。

● 旧約時代、預言者たちは聖霊に動かされて語り、その言葉が書き記されて聖書になりました。新約聖書に至っても同じです。聖書は神の靈感によるものであり、聖霊がその著者です。そして何とその著者が私たちの内に住んでくださり、解説し、大事な所を思い出させ、どう適用するか、教えてくださるというのです。大好きな作家を自宅に招いて、直接話し聞いている状況を思い描いてみて下さい！

● 御言葉を愛し、真剣に学び、適用しようとする人は、聖霊に喜ばれる人です。その人は必ずもっと深く神を知り、神の力を体験するようになります。ですから私たちは日々、デボーションの時を持ち、聖霊の導きと助けを求めましょう。そして、どこにいても常に聖霊の導きを受けやすいよう御言葉を口ずさみ、心を整えておくようにしましょう。聖霊と共に歩み続けるなら実を結ぶことが約束されているのですから。 ■

## 【今週の英語】

Many Christians estimate difficulty in the light of their own resources, and thus they attempt very little and they always fail. All giants have been weak men who did great things for God because they reckoned on His power and presence to be with them. Hudson Taylor 多くのクリスチャンは自分の能力を基準に困難を計ってしまい、ほとんど挑戦しないばかりでなく、失敗ばかりする。神のために偉大な事業をなした巨人たちは皆弱い人たちであったが、彼らは神の力と臨在とが彼らと共にあることに信頼したのである。

★本日父の日、お父さん、お疲れ様、ありがとう！

